

図書館だより

2002.10

No. 18

今年の十一月、「読書で拓こう子どもたちの未来」を研究主題に、第三十回児童に対する図書館奉仕全国研究集会が本県で三十年ぶりに開催されます。本大会を契機に子どもたちへの読書サービスの気運が高まり、一人でも多くの子どもたちが読書によって楽しい豊かな時間を持つことができることを願っております。

今から二十数年ほど前になりますが、本の読み聞かせについて私にも、忘れられない出来事があります。当時、八歳の次女が病気で入院中、私は夜だけ娘に付き添い病院から通勤する毎日を送っていました。

その頃、その病院の小児科病棟は、重症で長期入院の子どもたちが多く、親元を遠く離れ、天井からぶら下がる点滴をいつも虚ろな瞳で眺めている子どもも少なくありませんでした。毎晩、病室に入ると、六人部屋の他の子どもたちの邪魔にならないように、娘の気持ちを和らげるべく小さな声で読み聞かせをしていました。はじめは、

特に関心を示さなかった子どもたちも、次第に娘のベッド際に集まってきて、やがて部屋のみんなと一緒に聞くようになりしました。ただ一人だけベッドから全く起きあがれない少女が部屋の一番奥で笑みを浮かべて聞いてくれました。そのうちに子どもたちもすっかりうちとけて、それまで無表情だった彼らに笑顔が戻り、「ねえ おばちゃん、この本読んで。」と言ってくる

第三十回児童に対する図書館奉仕全国研究集会によせて

「ねえ おばちゃん、この本読んで」

熊本県立図書館奉仕課

内野 静子

ようになりました。徐々に子どもたちの瞳にも輝きが増し、力強さがみなぎってくるようになりました。

そしてある日、一番奥のベッドから少女の姿が見えなくなりました。悲しみにみちた病室で、その日も子どもたちの心を癒すよう、彼らが一日も早く元気になれるようにと、いつもと同じように読み続けました。最初は娘のためにと思ってたやっ

たことでしたが・・・。「また明日！おやすみなさい。」読み終えた後の、子どもたちの満足そうな表情が今でも目に浮かんできます。

「全ての子どもたちに読書のよろこびを」と、長年、全国を駆けまわり啓発推進をされておられる渡辺順子氏は、「生きる勇気を与える絵本のもつ力、そして肉声で読むことの大事さ」を力説しておられます。家庭をとりまく環

境が複雑に変化し、多様化している今だからこそ、多くの子どもたちに手をさしのべる児童奉仕の在り方を検討する必要があります。あるのでは

ないでしょうか。

今回の全国研究集会では、重度の疾病を持つ長期入院児童や心身に障害を抱える児童などへのサービスの在り方を討議する、アウトリーチの分科会が設けられています。この取り組みが、新たな児童サービスの方向性を拓くものとして広がっていきますよう祈っております。

県内図書館 リポート REPORT

熊本市立図書館



現熊本市立図書館は、昭和五十七年の開館以来二十年を迎え、蔵書冊数は開館時の二十三万冊から、八十万冊と大幅に増加し利用者数も順調に伸びてきています。しかし、図書館を取り巻く環境が大きく変化するなか、時代の要請に合った新しい図書館サービスの

展開が求められています。特に、活字離れがいわれる今日、次代を担っていく子どもたちができるだけ多くの本との触れ合いの機会をつくる等、読書環境の整備を進めていくことが必要です。

このため、市内の小・中学校の児童・生徒を対象に学校の図書館はもちろん、市立図書館や移動図書館、公民館等図書室（十五館）でも共通して利用できる「図書利用カード」を七月に配布し、大幅に利用が増えているところです。また、調べ学習の資料については学校と連携しながら資料の充実を図っています。

その他、子ども読書活動の推進に向けての事業としては、毎月第四木曜日の「よみきかせ」、第一・三土曜日の「おはなし会」、第四土曜日の「紙芝居&映画会」、年四回の「親子で楽しむ季節のおはなし会」や大人向けの「よみきかせ講座」等を開催し、ブック・スタートの実施についても現在検討を進めています。

更に、一般・児童向けの「図書展」や「リサイクル図書の配布」「映画会」「郷

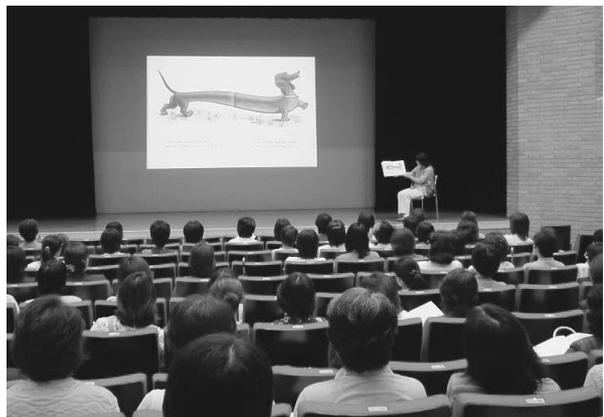


土史講座」等の催し物を開催しています。

その他のサービスとして、視聴覚室のリスニングルームでのCD、ビデオ等の視聴、移動図書館車での市内巡回による個人貸出し、学校や個人文庫等への団体貸出しを行っています。

広報活動としては、図書館を広く知ってもらい、利用していただくために、「市政だより」に図書館の催し物等の掲載や「図書館だより」の発行のほか、今年の六月からは、新たにホームページを開設し、学校や家庭のパソコンから図書や催し物の情報等が検索できるようになりました。

今後は、ホームページからの予約の実施や利用者の視点に立った開館日・時間の見直し等について検討を進めるとともに、迅速かつ多様な図書や文化情報の提供など、市民の皆様から信頼され、親しまれ、そして愛される図書館づくりをめざして努力していきたいと思っています。



開館時間	
平日	9:30~18:00
土・日	9:30~17:00
※郷土・参考資料室、視聴覚室は、平日も17時まで	
休館日	
●月曜日・祝日 (祝日が月曜日のときは、その翌日も)	
●館内整理日 毎月末日(ただし、当月末日が土・日・月曜日のときは、その直前の金曜日)	
●年末年始 (12月28日~1月4日)	
●特別整理日 2週間(6月)	

熊本市立図書館
〒862-0971 熊本市大江6丁目1-74
TEL(096)363-4522 FAX(096)372-4252
URL <http://www.library.kumamoto-kmm.ed.jp>

第三十一回
児童に対する
図書館奉仕全国研究集会

読書で拓く子どもたちの未来

豊かな読書環境づくりをめざして

一 趣 旨

子どもたちの心の成長に読書の果たす役割は大きい。子どもと本のつながりを確かなものにしようと全国の図書館、学校、地域などにおいて様々な活動が行われています。「子ども読書の日」が制定された記念の年に、全国の児童サービスに関わる人々が火の国熊本に集い、次世代を担う子どもたちの豊かな読書環境づくりのための方策について考えます。



五 場 所

ニュースカイホテル

六 日 程

十四日

① 基調講演

松谷みよ子氏（作家）
『ちいさいモモちゃん』から『捨てていく話』まで

② 分科会へ向けての提言

小玉 理英子氏（尚綱大学）

③ 分科会（各二例実践報告）

● 第一分科会

乳幼児サービスの展開

～赤ちゃんへの語りかけ～

図書館が関わって行う読み聞かせや、乳幼児をもつ保護者実践を促すための働きかけなど、児童サービスのあり方について考えます。

○ 福本律子氏

（熊本 牛深市図書館）

○ 牛山圭吾氏

（長野 茅野市立図書館）

● 第二分科会

図書館と学校教育との連携

～すべての子どもに生きる力を～

読書活動の推進や調べ学習への対応などの方策について考えます。

○ コーディネーター
中多泰子氏（大正大学）

○ 田川昭仁氏

（熊本 龍ヶ岳町立天道小学校）

○ 泉 隆史氏

（千葉 袖ヶ浦市立奈良輪小学校）

● 第三分科会

図書館とアウトリーチ

～インディキップサービスの視点から～
重度の疾病を持つ長期入院児童や心身の障害を抱える児童などに、図書館は何かができるのかについて考えます。

○ 高野 和佳子氏

（熊本 おはなしボランティア「紙ふうせん」）

○ 脇谷 邦子氏

（大阪 大阪府立中央図書館）

十五日

● 全体会

児童サービスの未来像

○ パネラー

渡辺順子氏

（日本図書館協会評議員）

須永和之氏（國學院大学）

山内 薫氏

（墨田区立緑図書館）

たつみや章氏（児童文学作家）

○ コーディネーター

中多泰子氏（大正大学）

占領下の子ども文化

〈1945～1949〉展

熊本近代文学館では、七月九日～八月十八日まで、アメリカメリーランド大学に収蔵されている占領下の日本の図書検閲資料「プランゲ文庫」から児童図書の巡回展を開催しました。併せて八月四日には福音館書店相談役の松居直先生をお迎えして「未来を信じた時」の御講演をいただき、八月十五日終戦記念日には、熊本朗読研究会と共催で「平和のメッセージ」詩の朗読会を行いました。期間中五〇〇名を超える来館者でにぎわい、あらためて家族の絆の大切さや、平和の尊さ、次世代を担う若者たちに込められた先人たちの熱い思いが伝えられた展示会になったと考えています。





2002 読書週間

10月27日～11月9日（文化の日を中心に2週間）

自分が変わる、世界が変わる、本との出会い

お知らせコーナー

● 10月からの熊本県立図書館の行事を紹介します ●

図書に見る宮本武蔵の世界展
 展示本 五輪書、それからの武蔵、バガボンド、
 宮本無三四実伝記など約200点
 開催期間 10月29日～11月17日
 午前9時30分～午後5時
 会場 3階第1研修室

宮本武蔵特別講演会
 期日 11月10日（日）
 午後1時30分～午後3時
 会場 3階大研修室
 講師 大河内昭爾氏（文芸評論家）
 演題 「五輪書」をめぐる

（主催：県立図書館、近代文学館、近代文学館友の会）

● 近代文学館特別展「上村占魚文学展」

人吉出身で戦後を代表する俳人。後藤是山、松本たかし、高濱虚子に指導を仰ぎ、中川一政らにも愛された占魚を俳句、書画、工芸品で紹介。芸術への道を拓いた片岡思拙にも焦点を当て、望郷の念の根幹にあるものを探ります。

展示期間 10月16日～12月8日

記念講演会

期日 11月3日（日）
 会場 3階大研修室
 講師 後藤狷士氏（元多摩美術大学学長）

● 第41回熊本県児童書発表大会

期日 10月27日（日）
 午前9時30分～午後3時20分
 会場 甲佐町中央公民館

● 楽しい絵本展「はじめのはじめに出会う絵本…」

期間 1月10日～1月30日
 会場 子ども図書室

● 児童読書推進講演会

期日 1月11日（土）
 会場 県民交流会館パレオ
 講師 中川李枝子氏（絵本作家）

これからのギャラリー展（会場：1階ギャラリー）

学校名	展示期間
熊本市立東町中学校	10/8～10/27
熊本市立城北小学校	10/29～11/17
植木町立鹿南中学校	11/19～12/8
熊本県立大津養護学校	
熊本県立熊本聾学校	12/10～1/5
熊本県立松橋養護学校	
ルーテル学院高校	1/7～1/26
阿蘇町立尾ヶ石東部小学校	1/28～2/16
熊本県立熊本養護学校	
宇土市立鶴城中学校	2/18～3/9
熊本市立飽田東小学校	
熊本県立熊本農業高等学校	3/11～3/23
熊本市立砂取小学校	
熊本市立松尾東小学校	3/25～4/21

図書館だより
 《熊本県立図書館報》
 第92号（改題第18号）
 平成14年10月1日発行
 発行所 熊本県立図書館
 〒862-8612
 熊本市出水2丁目5-1
 電話 (096)384-5000

14 教委 熊 図
 ③ 003 - 1

所在地
 熊本市出水二丁目五-一
 電話 (〇九六) 三八四一五〇〇〇

開館時間
 午前九時三〇分～午後七時（但し、土・日曜日、国民の祝日、子ども図書室、視聴覚室、近代文学館は、午後五時まで）

休館日
 月曜日、毎月末日、年末年始、特別整理期間

熊本県立図書館のご案内

利用案内が新しくなりました

